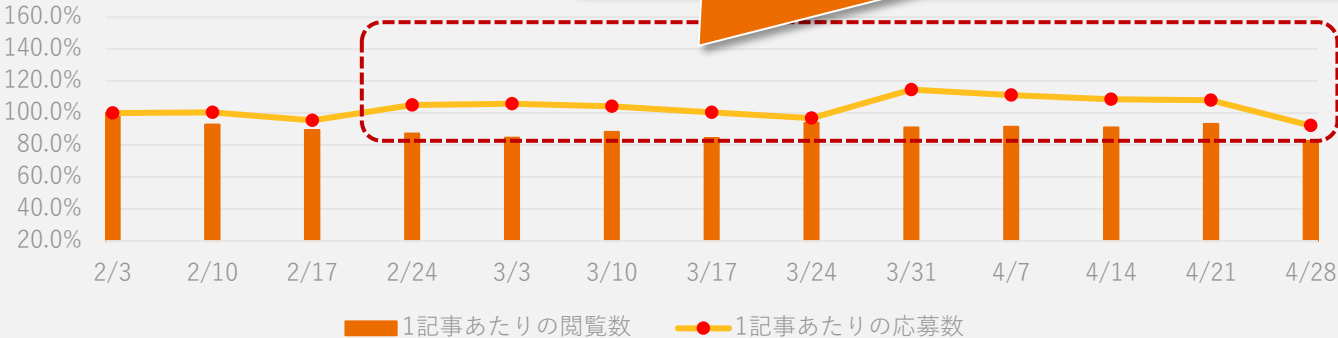


2月～4月は、年度末や新生活スタートで採用市場が活性化するタイミングです。正社員は4月1日入社が一つの区切りとなりますが、4月以降は夏に向けての転職希望者が情報収集を始めるタイミングとなります。

昨年の傾向だと、1記事あたりの応募数は3月、4月は盛り上がりを見せています。採用競合企業も増えるため、露出拡大とブランディングの両軸の設計が大事なタイミングであると言えます。また、正社員求職者は、夏の賞与後の転職も視野に入れた動き出しも見られるため、長期露出が有効です。

昨年の同時期の
市場状況
2月から4月
(2025年)の動き



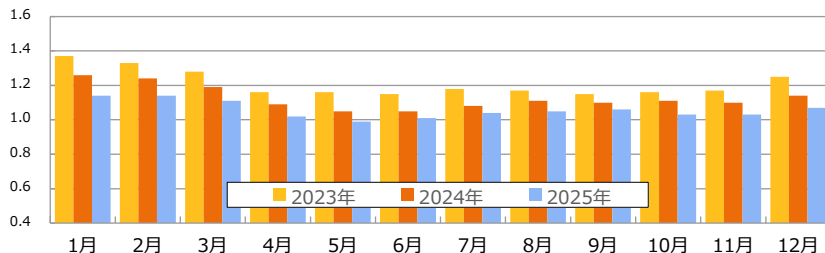
データについて：2月3日の閲覧数・応募数を100%として週毎に率で算出

属性ごとの狙い目

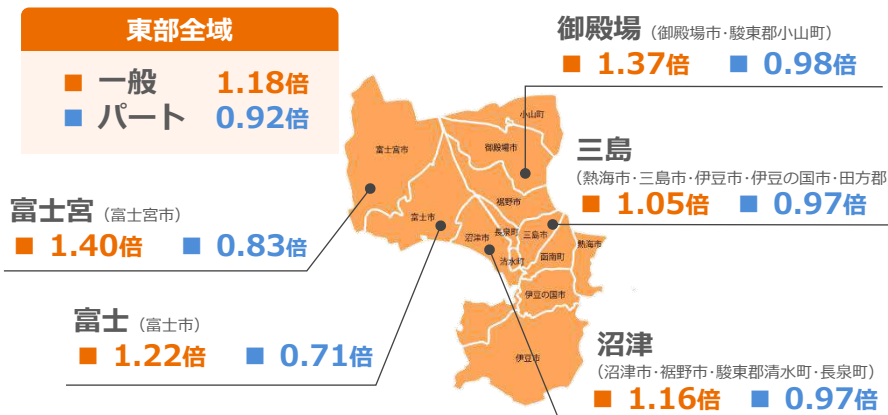
		❄️ 2月		👩 3月		🌸 4月	
		1・2週目	3・4週目	1・2週目	3・4週目	1・2週目	3・4週目
アルバイト・パート	大学・専門学生 / 高校生	○ テストが終わった方から動きが順次活発になる時期。	◎ 春休み中の「稼ぎ時」を狙って動きが活発化。	○ 卒業式や4月からの新生活の準備(学用品の購入など)で一時的に応募が減少する。	◎ 授業スケジュールを見越して「長期で安定して働けるバイト」を探し直す動きが加速する。	○ 学校の履修登録・新入生歓迎会等で多忙のため、情報収集にとどまるケースが多い。	◎ 授業時間割の確定により応募が急増。
	フリーター	◎ 期変わりに向けた求職の動きが活発化。	◎ 期変わりに向けた求職活動に加え、ひな祭り、ホワイトデーなど、催事の短期募集を狙った動きも活発な時期。	◎ 年度末の契約満了や退職に伴い、4月からの新天地を探す活動がピークに。即決傾向も強まる。	◎ 4月からの長期案件を確保し、「GWの短期高時給」案件に目を向け始める。	○ 期変わり転職が落ち付き、応募は一時的に減少。まだ決まらない方の動きもあり。	◎ 高時給のGW短期で探す方や、期変わり退職者が長期視点で即日・フルタイムで探す方も増える時期。
	主婦・主夫	◎ お子さんの学校行事も落ち着き、動きが活発になる時期。	◎ 引き続き動きは活発。企業の人事異動の時期に入るため、急な家族の転職で職も起きやすい時期。	◎ 卒園・卒業式、4月からの新生活の準備(学用品の購入など)で一時的に応募が減少する。	◎ お子さんの春休みで「巣立・在宅」への関心が高まる。4月中旬以降の長期就業に向けた応募も増え始める。	○ 入学式等の学校行事で忙しく、動きが一時的に減少する。	◎ お子さんの学校行事も落ち着き、応募が活発化する。長期志向の求職者が多い時期。
正社員・契約社員		◎ 4月入社に向けた動きが佳境を迎える。	○ 4月入社希望の駆け込み求職者の動きもあるが、内定決定も多い時期。	○ 4月入社予定人は内定を済ませており、この時期動くのは「5月以降入社」の計画派。	○ 有給消化に入った層が、4月以降のキャリアを考えて動き出す。また4月の人事異動内示後、転職を決定する「潜在層」の動きもあり。	○ 4月1日入社のヤマが終わわり、企業・求職者ともに動きが鈍いタイミング。	○ 異動後の不満や早期離職層が動き出す。

※評価基準…属性毎の求職者が動く時期を「◎」「○」「△」で評価しております

東部地区 有効求人倍率



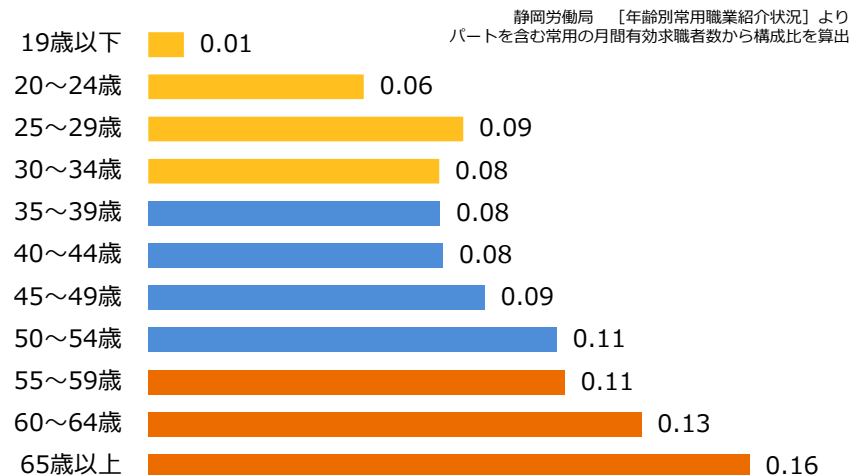
東部地区 地域別有効求人倍率



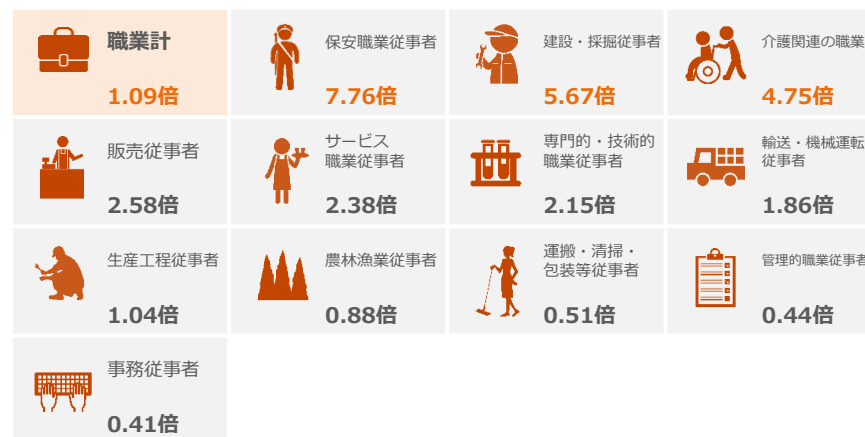
有効求人倍率 求職者1人に対する求人情数。倍率が1を超えるということは、求職者数よりも求人情数が多い(=採用難)ということを表す
※県全体の有効求人倍率は季節調整値(季節要因による調整をした数字)だが、地区別の有効求人倍率は、季節調整を行っていない数値

データ出所 職業安定所が毎月集計のうえ、翌月末に前月の数値を発表

静岡県 年齢階級別月間有効求職者数 (構成比)



静岡県 職種別有効求人倍率



静岡県労働局 [求人・求職バランスシート(常用+常時のパート)] より
※職業分類は厚生労働省の分類により営業職は「販売の職業」に含まれ「職業計」には分類不能の職業などを含む。